

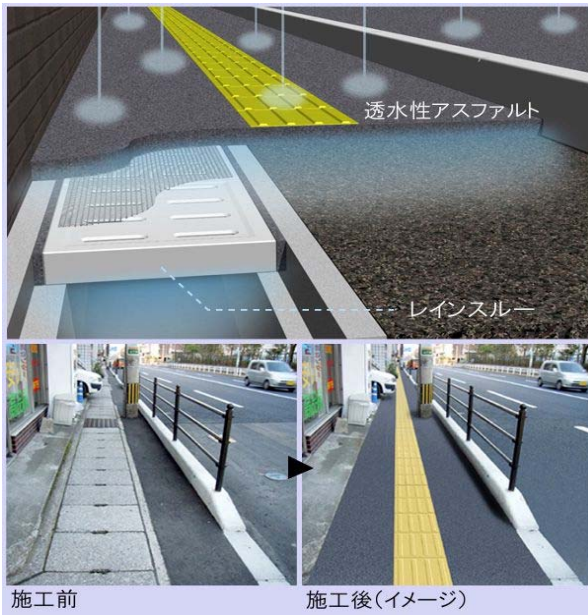
## 技術概要書（様式）

※別紙2

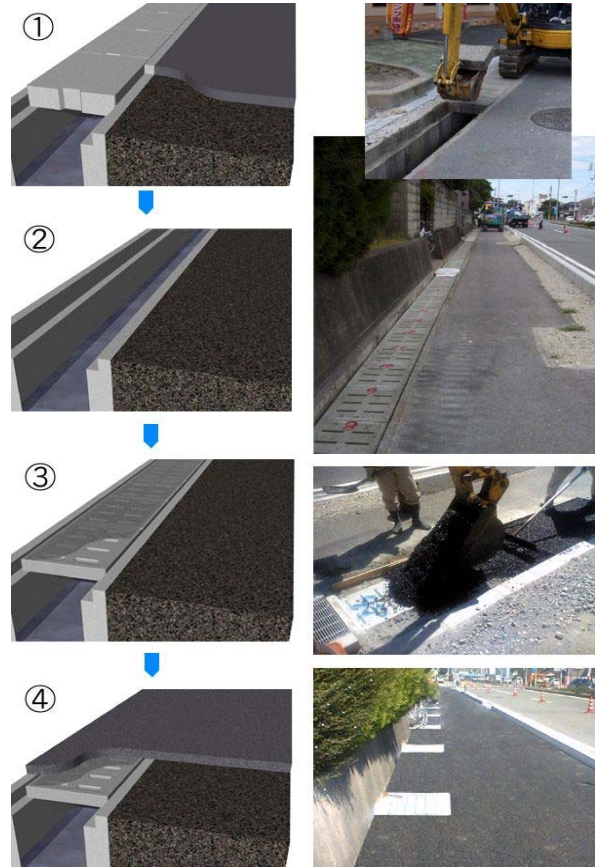
技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全 <input type="radio"/> 防災 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質                    （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	レインスルー	担当部署	研究開発課
NETIS登録番号	QS-070021-V	担当者	坂本 和也
社名等	インフラテック株式会社	電話番号	050-3085-9434
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の側溝を有効活用するため、既存の側溝の上に高強度の蓋を埋設し、上面を透水性(排水性)舗装で覆う事を可能にするための蓋の開発を行いました。</li> <li>・従来は、側溝の掛部分を切削し、型枠を組み、配筋をした上で必要厚の現場打ちコンクリートを打設し、一定の養生期間をおいた後に、さらに集水用の開口を設け、導入パイプを設置し、その上に透水性(排水性)舗装を施工する必要があったが、工期の短縮を可能とした蓋を開発いたしました。</li> </ul> <p>2. 技術の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来現場打ちで構築していた部材を二次製品化を行うことで、大幅に工期を短縮できます。</li> <li>・プレス製造により生産能力が向上しており、緻密で耐久性に富む製品になってます。</li> <li>・繊維ネットを組み合わせる事で、舗装時にアスファルト合材が集水穴から落下するのを防止出来、同時にアスファルト舗装のクラック抑制効果も期待できます。</li> </ul> <p>3. 技術の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存側溝をそのまま活用することで、撤去・新規設置の必要がなく、工期(即日復旧)を大幅に短縮できます。</li> <li>・全面をアスファルト舗装で施工するため、継目のない安全・安心な歩行空間を創造できます。</li> <li>・表層アスファルトを浸透した水が、直接集水穴を通して側溝に流れ込むため、高い集水能力を持っています。</li> </ul> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道部、車道部、一部停止三叉路、大型車両乗入れ部等で既存側溝をアスファルト舗装で暗渠化する場所に使用できます。</li> </ul> <p>5. 活用実績</p> <p>                     国の機関    32 件（九州    4件、九州以外 28件）                      自治体       72 件（九州    25件、九州以外 47件）                      民間          0 件（九州    0件、九州以外 0件）                 </p>		

## 6. 写真・図・表

### \* 工法概要



### \* 施工手順



### \* 製品特徴

